

学校教育目標「誠実・健康・努力」

# 不撓不屈



釜石市立唐丹中学校

〒026-0121

釜石市唐丹町字小白浜 314

TEL:55-2106 FAX:55-2667

## あの日あの時 ～震災を語り継ぐ会～

2月25日(火)5校時、学校運営協議会委員の上村年恵さんを講師にお招きして、震災を語り継ぐ会を開催しました。2011年3月11日、あの大地震、大津波が襲来してからの避難の様子、神社での避難生活、仮設住宅での生活、生活をどのように維持していったか、唐丹として独自にどのような復旧の動きをしたかなど、上村さんの体験を話していただきました。また、上村さんが地域から頼られ、リーダーとしてどのような思いで行動したかについても話していただきました。「家族も避難していることを信じて、自分が逃げること」、「地域に溶け込むことで地域の連帯が生まれること」、「人を思いやる心と言動が大切であること」、「語り継ぐことの大切さ」を強調されていました。また、唐丹が他の市町村に先駆けて独自に復旧作業や生活再建に取り掛かったことも話され唐丹の良さにあらためて気づかせてくださいました。

地震、津波、土砂災害、山火事などいつ災害が起きても不思議はありません。交通の便が良いとは言えない唐丹周辺です。言い伝えを知り、地形を知り、人を知り、生き抜くための心構えと備えを十分にしていきたいと思います。上村さん、貴重なお話を生徒にお聞かせいただき大変ありがとうございました。

<生徒の感想から>

○今回の震災を語り継ぐ会では、また新たな視点から話を聞くことができ、訓練をしていたから助かったということで訓練の大切さや、とにかく最短距離で高いところに逃げることの大切さを学ぶことができたのでよかったです。これからは、今回学んだことの中でもとくに他人を傷つけるようなことは言わないこと、仲良くすること、協力し合うという普段の生活の中でもしっかりとできるようにしていきたいと思いました。(3年男)

○上村さんの話を聞いて当時のことがよくわかったし、津波の怖さがわかりました。唐丹の人たちはみんな協力して震災を乗り越えたと言っていたし、唐丹の人たちの行動がきっかけで他の市の人たちも動いたと聞いて本当にすごいなと思いました。私は全く記憶がないので今日聞いて良かったです。最後に言っていたように心配しても戻らないことを地震のときは気をつけたいです。そして、唐丹や花露辺の人みんな協力して震災を乗り越えたいです。感謝の気持ちも忘れず過ごしていきたいと思いました。(3年女)



## なんて書こうかな? 決意の言葉

2月25日(火)放課後、小学校6年生対象に「新入生決意の言葉説明会」を行いました。本校では、新入生が中学校入学の決意の言葉を漢字1文字あるいは2文字で色紙に表し、入学式で一人一人発表しています。みんな緊張して聞いていましたが、ワクワクした表情もあり中学校生活への期待感じられました。過去の入学式のビデオを観て具体的にイメージも沸いたようです。どんな言葉を書いてくるか楽しみです。

因みに私は、令和7年度は『学』にしたいと思います。唐丹中は「分かった」「できた」を実感する学びを目指します。

